

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務
業 務 概 要	本業務は中部地方整備局管内の港湾施設が、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるため、維持管理に関する効率化技術を検討するとともに、港湾施設の維持管理に携わる国及び港湾管理者等の実務担当者に対する技術講習会を開催し、技術情報の提供及び共有を図るものである。
契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に そ の 所 属 す る 部 の 名 称 及 び 所 在 地	支出負担行為担当官 中部地方整備局副局長 中原 正顕 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号 NUP・フジサワ丸の内ビル
契 約 年 月 日	令和7年9月30日
契 約 業 者 名	令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋一丁目14番2号
契 約 金 額 （ 税 込 ）	¥9,625,000.-
予 定 価 格 （ 税 込 ）	¥9,691,000.-
随 意 契 約 に 基 づ いて 行 った 理 由	別紙のとおり
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和7年9月30日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和8年2月27日
備 考	

随意契約理由書

1. 業務名 令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務

2. 選定理由

本業務は、中部地方整備局管内の港湾施設が、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるため、維持管理に関する効率化技術を検討するとともに、港湾施設の維持管理に携わる国及び港湾管理者等の実務担当者に対する技術講習会を開催し、技術情報の提供及び共有を図るものである。

本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、「令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体」を契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3項の規定により、「令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ニュージェック設計共同体」と随意契約するものである。

プロポーザル評価表

1.件名

令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効率化技術検討業務

2.所属事務所

港湾空港部

3.技術提案書の特定通知日

令和7年9月16日

業者名	技術評価点の内訳			技術評価点 合計	備考	摘要
	配置予定技術者の 経験及び能力	実施方針・実施フロー・ 工程表・その他	特定テーマに対する 技術提案			
評価のウェート	80	80	160	320		
令和7年度 港湾施設の維持管理に関する効 率化技術検討業務沿岸技術研究センター・ ニュージェック設計共同体	71.00	52.00	106.67	229.67		特定

※合計値において四捨五入のため、各項目の合計とは整合しない場合がある。